

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月14日
【四半期会計期間】	第33期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	夢みつけ隊株式会社
【英訳名】	YUMEMITSUKETAI Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 佐々木 ベジ
【本店の所在の場所】	東京都新宿区愛住町13番地10
【電話番号】	03(5369)7831(代表)
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当 係長 秦 剛浩
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区愛住町13番地10
【電話番号】	03(5369)7831(代表)
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当 係長 秦 剛浩
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第3四半期連結 累計期間	第33期 第3四半期連結 累計期間	第32期
会計期間	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 12月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成23年 4月1日 至 平成24年 3月31日
売上高 (千円)	2,255,292	1,796,370	2,931,794
経常利益 (千円)	134,505	77,544	192,209
四半期(当期)純利益 (千円)	116,655	65,264	136,309
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	106,931	47,319	140,669
純資産額 (千円)	618,934	703,186	652,672
総資産額 (千円)	2,302,804	2,224,298	2,207,154
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.88	6.65	13.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		6.64	
自己資本比率 (%)	26.4	31.5	29.1

回次	第32期 第3四半期連結 会計期間	第33期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成23年 10月1日 至 平成23年 12月31日	自 平成24年 10月1日 至 平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.36	2.33

- (注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。
 2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 3. 第32期第3四半期連結累計期間及び第32期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更等はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政問題に伴う海外経済の減速などから、国内景気の先行きが不透明な状況が続きました。一方で政権交代に伴う期待感からの円安・株高が進むなど、企業収益や個人消費マインドに改善の兆しが現れ始めております。当社が属する通信販売業界におきましても、このような経済状況を背景とした個人消費の冷え込みから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、より一層の効率的経営を目指して活動をしてまいりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

通販小売事業

主力となります通信販売カタログの編集制作においては、コールセンターとの連携による販売促進活動を進め、顧客の購買動向に合わせた商品提案を行い製作したカタログが効果的に顧客の購買へつながるように務めました。商品開発では利益率向上のため商品原価率を引き下げる取り組みを進めるとともに、売上高増加を図るため販売の核となる商品の開発に注力いたしました。自社サイト「夢隊WEB」においては、引き続き、購入者に対するフォローメールやメルマガ会員対象のセールなどリピート顧客の活性化を図る取り組みを続けております。

以上の結果、通販小売事業の売上高は1,682百万円(前年同四半期比21.3%減)となり、セグメント利益は210百万円(前年同四半期比26.4%減)となりました。

不動産事業

不動産事業においては、新規の不動産の取得を行わず、保有する不動産の賃貸を行っております。

以上の結果、不動産事業の売上高は59百万円(前年同四半期比3.1%増)となり、セグメント利益は16百万円(前年同四半期0百万円)となりました。

その他

グリストラップ浄化装置等のレンタル事業においては、新規の設備の取得は行わず、既存の設備のレンタルを継続しております。ライフステージ株式会社は、介護施設を運営し、デイサービスを行っております。

以上の結果、その他の売上高は54百万円(前年同四半期比9.7%減)となり、セグメント利益は9百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,796百万円(前年同四半期比20.3%減)、営業利益は99百万円(前年同四半期比38.8%減)、経常利益は77百万円(前年同四半期比42.3%減)、四半期純利益は65百万円(前年同四半期比44.1%減)となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,496,000
計	20,496,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,458,000	10,458,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	10,458,000	10,458,000		

(注) 発行済株式数のうち、2,430,774株は、現物出資(投資有価証券150,708千円)によるものであります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		10,458,000		534,204		

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）（注）1	普通株式 641,300		
完全議決権株式（その他）（注）2	普通株式9,816,200	98,162	
単元未満株式	普通株式 500		1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	10,458,000		
総株主の議決権		98,162	

（注）1．「完全議決権株式（自己株式等）」の欄は、全て当社保有の自己株式であります。

2．「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式2,000株が含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権数の数20個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛住町13番地10	641,300		641,300	6.13
計		641,300		641,300	6.13

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	業務部門担当	加藤 和弘	平成24年8月31日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	565,349	638,921
受取手形及び売掛金	255,460	234,166
商品	113,731	100,227
販売用不動産	179,527	175,627
貯蔵品	2,489	2,458
繰延税金資産	44,861	45,931
その他	112,525	106,659
貸倒引当金	23,903	8,614
流動資産合計	1,250,041	1,295,379
固定資産		
有形固定資産		
建物	673,246	674,782
減価償却累計額	148,397	160,629
減損損失累計額	114,775	114,775
建物（純額）	410,073	399,376
車両運搬具	12,051	12,051
減価償却累計額	11,346	11,505
車両運搬具（純額）	705	546
工具、器具及び備品	48,544	48,483
減価償却累計額	34,450	35,066
減損損失累計額	8,917	8,917
工具、器具及び備品（純額）	5,176	4,498
機械及び装置	156,079	88,525
減価償却累計額	117,842	65,721
減損損失累計額	12,477	12,477
機械及び装置（純額）	25,759	10,326
土地	244,671	244,671
その他	10,617	10,617
減価償却累計額	5,042	6,524
その他（純額）	5,574	4,092
有形固定資産合計	691,961	663,512
無形固定資産	5,552	3,359
投資その他の資産		
投資有価証券	129,697	123,518
長期貸付金	86,120	83,060
繰延税金資産	5,611	5,221
その他	54,259	79,186
貸倒引当金	16,089	28,939
投資その他の資産合計	259,598	262,047
固定資産合計	957,113	928,919
資産合計	2,207,154	2,224,298

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	236,283	206,784
短期借入金	681,993	652,820
1年内返済予定の長期借入金	3,828	3,793
未払金	109,846	122,301
返品調整引当金	3,310	2,702
ポイント引当金	14,618	12,574
その他	61,661	78,545
流動負債合計	1,111,541	1,079,521
固定負債		
長期借入金	417,289	417,613
その他	25,650	23,977
固定負債合計	442,940	441,590
負債合計	1,554,481	1,521,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,204	534,204
資本剰余金	527,440	339,289
利益剰余金	164,403	89,012
自己株式	221,232	221,232
株主資本合計	676,008	741,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,241	41,092
その他の包括利益累計額合計	34,241	41,092
新株予約権	-	2,933
少数株主持分	10,905	72
純資産合計	652,672	703,186
負債純資産合計	2,207,154	2,224,298

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,255,292	1,796,370
売上原価	1,075,732	857,085
売上総利益	1,179,560	939,284
販売費及び一般管理費	1,017,521	840,149
営業利益	162,038	99,134
営業外収益		
受取利息	76	60
受取配当金	342	342
業務受託手数料	3,215	2,020
その他	4,066	3,232
営業外収益合計	7,700	5,655
営業外費用		
支払利息	34,704	26,962
その他	528	282
営業外費用合計	35,233	27,245
経常利益	134,505	77,544
特別損失		
固定資産除却損	7,576	3,928
関係会社株式売却損	-	1
その他	267	-
特別損失合計	7,844	3,930
税金等調整前四半期純利益	126,660	73,614
法人税、住民税及び事業税	12,878	20,125
法人税等調整額	-	681
法人税等合計	12,878	19,444
少数株主損益調整前四半期純利益	113,782	54,170
少数株主損失()	2,873	11,094
四半期純利益	116,655	65,264

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,782	54,170
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,851	6,851
その他の包括利益合計	6,851	6,851
四半期包括利益	106,931	47,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,804	58,413
少数株主に係る四半期包括利益	2,873	11,094

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)
 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	99,602千円	73,663千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	45,552千円	28,249千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年6月27日開催の第32期定時株主総会決議に基づき、資本準備金527,440千円、利益準備金15,653千円及び別途積立金70,000千円を減少させ、それぞれその他資本剰余金と繰越利益剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち188,150千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損てん補いたしました。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,137,198	57,660	2,194,858	60,434	2,255,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,137,198	57,660	2,194,858	60,434	2,255,292
セグメント利益	286,127	287	286,414	10,378	296,792

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	286,414
「その他」の区分の利益	10,378
全社費用(注)	134,754
四半期連結損益計算書の営業利益	162,038

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,682,392	59,431	1,741,824	54,545	1,796,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,682,392	59,431	1,741,824	54,545	1,796,370
セグメント利益	210,514	16,105	226,619	9,759	236,379

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,619
「その他」の区分の利益	9,759
全社費用(注)	137,244
四半期連結損益計算書の営業利益	99,134

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	11円88銭	6円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	116,655	65,264
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	116,655	65,264
普通株式の期中平均株式数 (千株)	9,816	9,816
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額		6円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (千円)		
(うち支払利息 (税額相当額控除後) (千円))		
普通株式増加数 (千株)		10
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月14日

夢みつけ隊株式会社

取締役会 御中

清流監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 安田 裕

業務執行社員 公認会計士 加悦 正史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている夢みつけ隊株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、夢みつけ隊株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。